

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
平成 30 年度第 2 回調査・研究部全体会議 通算第 2 回調査・研究部会
議事録

日時	平成 30 年 9 月 18 日 (火) 10:00~12:30		場所	電子会議	
部長	中野 正樹 (名古屋大学)	◎	理事	山中 稔 (香川大学)	○
副会長	木村 亮 (京都大学)	×			
幹事長	大竹 雄 (新潟大学)	◎	副幹事長	荒木 功平 (山梨大学)	◎
研究・連携・情報委員会			幹事	荒木 功平 (山梨大学)	◎
ワ幹事	高橋 直樹 (三井住友建設)	◎	部員	鈴木 健介 (鹿島建設)	◎
★部員	橋本 則之 (不動産トラ)	×	★部員	森口 周二 (東北大学)	◎
ワザハ	後藤 茂 (早稲田大学)	×			
研究発表会委員会			幹事	高野 大樹 (港空研)	◎
★ワ幹事	笠間 清伸 (東京工業大学)	◎	部員	山中 稔 (香川大学)	○
★部員	内村 太郎 (埼玉大学)	○	ワザハ	肥後 陽介 (京都大学)	×

配付資料

資料番号	資料
資料-30-2.0	平成 30 年度 第 1 回 調査・研究部運営会議議事録 (案) (H30/7/13 開催)
資料-30-2.0a	第 5 回理事会 (H30.7.20 開催) 審議結果とその対応
資料-30-2.1	平成 31 年度事業方針・計画(案), 予算(案)作成のお願い
資料-30-2.2	第 21 回事業企画賞候補案および審査員の選出依頼
資料-30-2.3	平成 30 年度学会賞候補推薦のお願い
資料-30-2.4	調査研究部のあり方の議論
資料-30-2.5	平成 30 年度収支管理用月次計算書 (平成 30 年 8 月 31 日まで)
資料-30-2.6	「福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム (略称: 廃炉地盤工学委員会)」委員会主催講習会 開催企画
資料-30-2.7	平成 31 年度新設研究委員会テーマ案募集 会告
資料-30-2.8	平成 30 年度研究委員会競争的研究費の年間予算配分
資料-30-2.9	研究・連携・情報委員会細則
資料-30-2.10	第 13 回環境地盤工学シンポジウム 開催企画
資料-30-2.11	図書室運営に関する課題と細則の見直しについて
資料-30-2.12	学会誌発行業者への電子図書室の ID・PW の付与
資料-30-2.13	第 61 回地盤工学シンポジウム論文募集 (HP より), 参加募集, スケジュール
資料-30-2.14	エネルギーに基づく液状化予測手法に関するシンポジウム論文募集 (HP より), スケジュール
資料-30-2.15	地盤工学研究発表会の支部還付金ルール見直しについて
資料-30-2.16	第 54 回地盤工学研究発表会名簿
資料-30-2.17	第 53 回地盤工学研究発表会優秀論文発表者賞授賞者リスト
資料-30-2.18	研究発表会の支部ローテーション
資料-30-2.19	平成 30 年度理事会議事録 (案) (H30/7/20 開催)
別添資料-1	委員会関連資料 2
別添資料-2	第 54 回地盤工学研究発表会 (大宮大会) 第 1 次予算案

I. 前回関係

1. 前回 (H30/7/13 開催) 調査・研究部会議事録の確認

(資料-30-2.0, pp.1-)

・前回 (H30/7/13 開催) 調査・研究部会議事録が確認された。部長より、各部員は関連する項目を確認し、必要に応じてメール審議、次回会議での審議で対応するよう依頼があった。

2. 第5回理事会 (H30.7.20 開催) 審議結果とその対応

(資料-30-2.0a, pp.7-)

・理事会における部会に関連する審議・報告の内容を確認された。

II. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 平成31年度事業計画および予算案

(資料-30-2.1, pp.10-)

・中野部長より、事業計画および第1次案、総務とのミーティング結果の説明があった。総務とのミーティング後の予算案は、発表会収入について高松大会決算案を当てはめただけのたたき台である旨追加の説明があった。

・内村部員 (埼玉大会実行委員会) より、埼玉大会の予算案が提示され、下記の議論が行われた。

—発表数は1000件と低く見積もっている (10年前に関東で開催された際の実績967件を考慮している)。これに対し、70周年記念大会でもあるので、部会や理事会でも多くの方が参加するよう努力するので、高松大会の参加者以上は目標値としたい、そのためには、参加者を増やすよう、部会で方策を考えなければならないとの意見があった。

—予算案に謝礼等は含んでいないので、今後、事務的なことも含め、高野部員 (発表会委員会) 長尾氏と内村部員とで精査してゆくこととなった。一次予算提出期限 (10/26) 前までに予算案を精査し、部会でメール審議することとなった。

—山中理事より、高松大会では、発表会委員会と綿密に連絡をとり、実行委員会で決めて結果を報告した、との助言があった。

・環境地盤工学シンポジウム、3Dプリンター委員会、次世代委員会、受託研究委員会、公募型受託研究委員会に関して、予算案の説明および下記の議論が行われ、了承された。

—シンポジウム収益については、委員会 (3Dか次世代地盤開業) に成果報告としてシンポジウム開催を仮定している。各委員会の成果報告として、ここ数年4年目にシンポジウムを開催することが多い。3D委員会 (H30終了) はそれに該当するが、シンポジウムの開催は難しいようである。部長より岩盤工学企画委員会にも協力を依頼する (しかし、8.5) において当委員会よりPDFでの成果報告にできないかの問い合わせが来ている)。次世代委員会 (H31終了): シンポジウムの開催について、部会より検討を依頼することとなった。

—受託研究委員会については、横浜環状委員会がH31年度も継続する可能性があり、わかり次第、予算計上する。

—調査部会費 (→調査・研究部会費としてください) の資料が違っているので正しい資料に変更し、部員に周知する。

2. 第21回事業企画賞候補案および審査員の選出

(資料-30-2.2, pp.22-)

・部会から以下の事業を推薦の候補とした。なお、部会からの審査員として、笠間先生を推薦することとなった。

—地盤環境工学シンポジウム: 部長より企画委員会に依頼する。企画委員会の方で賛同があれば候補とする。

—電子図書室: 橋本部員と鈴木前部員に企画書作成を依頼する。

3. 平成30年度地盤工学会賞 候補ご推薦のお願い

(資料-30-2.3, pp.38-)

・10月2日締切

・部長より、部会関連で、推薦できるものがあれば挙げてほしい旨依頼があった。

4. 創立70周年記念事業の調査・研究部担当

・高野部員 音声不具合のため今後の議題とする。→メール審議

—部長より、70周年記念事業の中で、研究委員会のあゆみと今後の方向性 (在り方) に関する冊子のようなものをつくるなどの意見があった。また、WGをつくって検討することとし、委員を指名することになった。

5. 調査・研究部の今後の方向性について

(資料-30-2.4, pp.42-) (別添資料-1)

・大竹幹事長より、資料を部員に送付し、メールでの議論をしてゆくこととなった。

[報告事項]

6. 調査・研究部 平成 30 年度予算執行状況

(資料-30-2.5, p.52)

・長尾氏より、8 月末までの予算執行状況が説明された。研究発表会の収支について、四国支部で管理しているものはまだ入っていない。入り次第数値は更新する。

7. 東日本大震災合同調査報告書の商品在庫数 (8 月末現在)

A セット (3 冊組, 20,000 円) : 8 セット/100 セット, B セット (2 冊組, 14,000 円) : 190 セット/200 セット
共通編 : 20 冊, 地盤編 1 : 176 冊, 地盤編 2 : 95 冊

・販売状況が説明され、すべて A セットにできるのかとの意見もあったが、議論の末、現状のまま販売を継続することとなった。地盤工学シンポジウムでも販売を促進することとした。

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

8. 研究委員会関係

1) 「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会 (略称: 廃炉地盤工学委員会)」委員の交代

長江 泰史 委員 ((株) テルナイト) → 宮本 久司 氏 (同左) ← 正会員

理由: 業務の都合

・委員の交代が承認された。

2) 廃炉地盤工学委員会主催講習会 開催計画

(資料-30-2-6, pp.53-)

a. 「現場実験から把握する地下水の実流速 (その 2)」に関する講習会

日時: 平成 30 年 10 月 19 日 (金) 9:00~16:30 場所: 日本大学文理学部 参加費: 無料

発議日: 2018 年 9 月 3 日~5 日 (研究・連携・情報委員会メール審議): 承認した。

発議日: 2018 年 9 月 10 日~13 日 (部会メール審議): 承認した。

・すでにメール審議により承認されている。WEB サイトに会告を掲載することとなった。今回は、前年度も行われたことから理事会の承認を待たずに、会告を了承したが、通常は理事会承認事項であるので、以後、あらかじめ準備するよう後藤部員に伝えることとなった。

b. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』」に関する講習会

日時: 平成 30 年 12 月 18 日 (火) 14:00~17:30 場所: JGS 会館 参加費: 無料

発議日: 2018 年 9 月 10 日~12 日 (研究・連携・情報委員会メール審議): 承認した。

・一昨年から連続した講習会であり、会員にとっても有益な内容であること、無料であることなどから承認した。

3) 平成 31 年度新設研究委員会テーマ案公募 (学会誌 11・12 月合併号会告掲載)

(資料-30-2-7, p.56)

・新設研究委員会テーマ案公募案について部長より修正後の文案が示され、(3)を追加した旨説明があり、下記の議論が行われた。

一すでに入稿済みであり、文案の修正は校正段階になる。

一研究成果の公表のやり方を明確に示したほうが良い。シンポジウムで良いのか? 申請者に検討してもらうのか? p.63 に示した内容を公告に入れるべきでは? 「雑誌による公表かシンポジウムの開催」程度の情報を与えるべきではないか。

一:p.63 に詳細がある。シンポジウムは必須ではない。シンポジウムを開催することを推奨してほしいが、徹底されていない。大竹幹事長が再度検討し、メール審議とする。何か意見があれば校正期間の間に執行部へ連絡してほしい。

一募集時点で予算計画(収支計画)を出してもらう必要があるのでは? 予算面を含めて審査するのでは?

一現状では、採択されてから予算の作成をお願いしているので、現状のままにすることとした。

4) 研究委員会 H30 年度年間活動計画および予算案

(資料-30-2.8, pp.57-)

高橋部員: エネルギーに基づく液状化予測手法に関する研究委員会

森口部員: 社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会

鈴木部員：3D プリンターによる岩盤の復元に関する研究委員会

橋本部員：次世代地盤改良技術に関する研究委員会

・次世代地盤改良委員会の予算案は、中野委員長(九大)に基本予算のみと勘違いされている可能性があるため、荒木副幹事長、橋本部員が確認し、その後メール審議とすることとした。また、部長より、今後、各担当者は委員会と連絡を取り合って状況を把握し、活動内容を適宜、部会で報告発表してほしい旨発言があった。

5) 研究委員会の成果の報告と公表について

(資料-30-2.9, pp.60-)

出来るだけシンポジウムを開催してほしい。

研究委員会に下記のようなメリットをいくつか提示出来ないか。例えば、

- ・地盤工学研究発表会でDSを優先的に開催できる
- ・シンポジウムで上げた利益の〇〇%を活動経費に加える？
- ・シンポジウム開催でJGS会館の会議室を使用できる？

・荒木副幹事長より、研究委員会の成果の報告と公表について説明があり、下記の議論が行われた。

—研究成果を三年目に報告することになっているが、実際には四年目にシンポジウム開催が多い。シンポジウム利益を委員会で使えるようにできないか？

—執行部で議論して検討するが、シンポジウムの開催は委員会の終わりの時だから利益の使い道が分からない。委員会は開催されていないので、実質的な活動費はかかっていない。DSを優先的に開催できるのは良い。

—公表することに対するメリットを明確にすべきである。発表会委員会とDSに関わる事なので、継続的に審議していく。

—3D 成果報告書の形態 PDF で良いかという確認が来ている。p.63 8-2 に形態問わないとあるのでPDF で問題ない。部会で承認したということで良い。なお、PDF だけで済ませるといふことかもしれないので、委員会へ確認が必要である。担当者:荒木副幹事長、鈴木部員

—部長より、成果報告について十分な議論ができなかったため、研究・連携・情報委員会において方向性を示してほしい旨発言があった。荒木副幹事長中心に方向性を示してゆくこととなった。

9. シンポジウム関係

1) 第13回環境地盤工学シンポジウム(2019.9.11-12(予定), 札幌市)開催企画

(資料-30-2.10, pp.65-)

・部長より、森口部員に代わって、第13回環境地盤工学シンポジウム開催企画について説明され、企画案が承認された。

10. 情報関係

1) 図書室運営に関する課題と細則の見直しについて

(資料-30-2.11, pp.67-)

・部長より、橋本部員に代わって、図書室運営に関する課題と細則の見直しについて説明され、保存期間を過ぎた寄贈図書の処理方法としては破棄することとし、細則変更を承認した。

・(部会終了後)第7条に関連し、現在、図書室所蔵図書データベースが整備されていないことが分かり、整備方法について、部会で議論することとなった。

・総務部長との事前打ち合わせにおいて、文言の不備があり、9月理事会への提出を見送ることとした。

2) 学会誌発行業者への電子図書室のID・PWの付与

(資料-30-2.12, p.70)

・新日本編集企画は地盤学会誌の編集担当であり、公益出版部長、地盤工学会誌編集委員会委員長より承認を得ていることから、本件、承認することとした。

[報告事項]

11. 研究委員会関係

1) 岩の力学連合会連合会賞選考委員の推薦(メール審議済み)

小山 倫史氏(関西大学) 森川 誠司氏(鹿島建設)

発議日:2018年8月27日~29日(部会メール審議):承認した。

・メール審議により承認済み。

12. シンポジウム関係

1) 第 61 回地盤工学シンポジウム (H30.12.14, 地盤工学会会議室) 準備状況報告 (資料-30-2.13, pp.71-)

申込件数: 11 件 (9 月 14 日朝時点)

論文集は WEB 形式で進める。ID とパスワードを販売? する

投稿数増加に向けて: 広報活動, 〆切の延長.

・荒木副幹事長より, 報告があり, 下記の議論が行われた。

— 申込数が 11 だったので締切を延長したい。→ 延期を了承する。締め切りは荒木副幹事長が提案, メール審議にて決定する。

— 参加募集についても, 荒木副幹事長が再検討(修正)し, メール審議にて決定する。

2) エネルギーに基づく液状化予測手法に関するシンポジウム (H31.3.26, 地盤工学会会議室) 準備状況報告 (資料-30-2.14, pp.75-)

・高橋部員より説明があり, 下記の議論が行われた。

— アブストラクト募集会告の文案について, 地盤工学ジャーナル特集号に関する記述が曖昧で誤解を招く恐れがあるので修正が必要である。高橋部員から委員会に修正検討を依頼する。

— 地盤工学ジャーナル特集号については委員会からの発案である。今後の手本となるよう, 一連のノウハウを得るよう。

IV. 研究発表委員会

[審議事項]

1 3. 地盤工学研究発表会の支部還付金の還付ルールの見直し (支部からの意見徴収) (資料-30-2-15, pp.78-)

・各支部, 概ね賛成であることから本ルールで運営し, 数年運営し問題があれば再度見直すということで承認した。

[報告事項]

1 4. 「第 54 回地盤工学研究発表会実行委員会」委員の追加 (メール審議済み)

森 友宏 氏 (前橋工科大学)

※JGS 会員 行事部 市民行事 地盤判定士 担当

・委員追加は承認された。

1 5. 第 54 回地盤工学研究発表会準備状況

1) DS 等テーマ募集 (10 月 1 日締切)

(資料-30-2-16, pp.83-)

・長尾氏より, 現在, 特別セッション 1 件, DS2 件との報告があった。

2) 若手座長依頼

・依頼先: 大林組, 鹿島建設, 清水建設, 大成建設, 前田建設工業, ?

・依頼時期: H30 年 11-12 月頃?

・下記の議論が行われた。

— 高野部員より, 田中副会長が主導で, 今年の依頼先はコンサル中心との報告があった。

— 部長より, 大手ゼネコン等の希望もあることから, 理事会(田中副会長)からの提案を受けて, 調査・研究部会でルール等が決められたら良い。10 月理事会提案をめざし, 依頼先をリストアップしたい, との発言があった。高野部員が対応することとなった。

3) 展望について

・高野部員より, 昨年度に高野部員・肥後前部員で数名候補者を挙げているとの報告があった。

1 6. 第 53 回地盤工学研究発表会報告

1) 講演集 DVD 販売価格 (メール審議済み)

・定価: 19,440 円 (本体 18,000 円) 会員特価: 14,040 円 (本体 13,000 円) とともに送料別

2) 優秀論文発表者賞受賞者: 149 名 (メール審議済み)

(資料-30-2-17, pp.86-)

3) 当日申込参加者数

一般会員: 240 名, 学生会員: 20 名, 非会員 (一般): 93 名, 非会員 (学生): 14 名, 合計: 367 名

(第 52 回大会: 一般会員: 255 名, 学生会員: 18 名, 非会員 (一般): 58 名, 非会員 (学生): 20 名, 合計: 351 名)

17. 研究発表会の支部ローテーション

(資料-30-2-18, pp.91-)

V. その他

18. 7月理事会報告

(資料-30-2-19, pp.94-102)

19. 理事会 (平成30年9月28日 (金)) 開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項] なし

[審議事項]

1. 廃炉地盤工学委員会主催講習会 開催計画,

2. 第13回環境地盤工学シンポジウム(2019.9.11-12(予定)、札幌市)

3. 「地盤工学研究発表会支部還付金に関する申合せ」の改定について

4. 第55回地盤工学研究発表会(関西大会) 開催日程、会場等について

(部会後に関西支部より審議依頼があり、部会でメール審議し、了承された)

[報告事項]

1. 委員の追加・交代

1) 岩の力学連合会連合会賞選考委員の推薦

2) 「第54回地盤工学研究発表会実行委員会」委員の追加

3) 「廃炉地盤工学委員会」委員の交代

2. 第61回地盤工学シンポジウム(H30.12.14、地盤工学会会議室) 準備状況

3. 廃炉地盤工学委員会主催講習会

4. 第53回地盤工学研究発表会報告

20. 総務部会 (平成30年10月4日 (木) 開催予定) への提案事項

21. 次回以降の部会・運営会議開催日

・30年度第3回調査・研究部会 (会合会議) : 平成30年11月12日 (月) 15時～

・30年度第4回調査・研究部会 (電子会議) : 平成31年1月10日 (木) 13時～

★ 平成30年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4月20日 (金) ※書面審議

② 5月18日 (金)

★ 6月6日 (水) 総会/理事会

③ 6月15日 (金) ※書面審議

④ 7月20日 (金)

⑤ 9月28日 (金)

⑥ 10月26日 (金) ※書面審議

⑦ 11月30日 (金)

⑧ 12月21日 (金) ※書面審議

⑨ 1月25日 (金)

⑩ 2月22日 (金) ※書面審議

⑪ 3月15日 (金)

⑫ 4月19日 (金) ※書面審議

⑬ 5月17日 (金)

★ 6月7日 (金) 総会/理事会